様式（評価機構フォーマット版）

令和 7 年度
自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

令和 8 年 4 月 23 日
福岡市医師会看護専門学校

目　　次

令和７年度の重点目標の評価 1

基準１　教育理念・目的・育成人材像 3

1-1　理念・目的・育成人材像 4

基準２　学校運営 5

2-2　運営方針 6
2-3　事業計画 7
2-4　運営組織 8
2-5　人事・給与制度 9
2-6　意思決定システム 10
2-7　情報システム 11

基準３　教育活動 12

3-8　目標の設定 13
3-9　教育方法・評価等 14
3-10　成績評価・単位認定等 16
3-11　資格・免許の取得の指導体制 18
3-12　教員・教員組織 19

基準４　学修成果 20

4-13　就職率 21
4-14　資格・免許の取得率 22
4-15　卒業生の社会的評価 23

基準５　学生支援 24

5-16　就職等進路 25
5-17　中途退学への対応 26
5-18　学生相談 27
5-19　学生生活 28
5-20　保護者との連携 30
5-21　卒業生・社会人 31

基準６　教育環境 32

6-22　施設・設備等 33
6-23　学外実習、インターンシップ等 34
6-24　防災・安全管理 35

基準７　学生の募集と受入れ 36

7-25　学生募集活動は、適正に行われているか 37
7-26　入学選考 38
7-27　学納金 39

基準８　財務 40

8-28　財務基盤 41
8-29　予算・収支計画 42
8-30　監査 43
8-31　財務情報の公開 44

基準９　法令等の遵守 45

9-32　関係法令、設置基準等の遵守 46
9-33　個人情報保護 47
9-34　学校評価 48
9-35　教育情報の公開 49

基準１０　社会貢献・地域貢献..... 50

10-36　社会貢献・地域貢献 51
10-37　ボランティア活動 52

令和７年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和７年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
誠実で礼節を尊ぶこころを基調とし、保健医療福祉における社会のニーズをとらえ、地域住民の生活や健康に関心を寄せ、「人々の健康を守り安心・安全な生活を支える」看護実践者を育成する。 【　人材　】 誠実：私利私欲をまじえず、情が深く真心があり、純粋に善良なことを行うこと。 礼節：人間関係や社会生活の秩序を保ち、人として守るべき行動を相手を思い節度を持っておこなうこと。 慈愛:常に慈しむ深い愛情を注ぐこと。 博愛：すべての人々を平等に愛すること。	1. 学生・生徒一人ひとりの主体性の確立を高めるような学習支援を行う。	1. 主体的に取り組めるよう支援し、卒業生の満足度の到達度は高い。物事に積極的に取り組む学生も多いが、個別指導の対象及び時間も増えている。	1. カウンセラーとの連携を強化しながら、自己の課題を認識し目標に向かって学習していけるよう主体性を高める対応の強化を行っていく。
	2. 学生・生徒の成長に向けて自己評価を効果的に運用する。	2. 授業・実習アンケートを実施しており、評価は概ね良い結果である。就職先への卒業生評価では「判断能力」が課題となっている。成績低迷者は早期に支援体制をとっているが、連絡に応答がないなどの学生もいた。	2. 課題改善に向け、継続して評価し改善を行う。また、家族を交えた方向性の確認やカウンセラーとの連携による更なる個別指導体制の強化や支援方法の工夫をしていく。
	3. 看護師国家試験・准看護師試験の全員合格を目指す。	3. 模試結果を踏まえ、ICT を活用した学習、成績低迷者の個別指導の対応を行った。第 1 看護学科は全国平均並みの合格率であったが、第２看護学科は低い合格率であった。准看護科は最後の卒業生で合格率 100%であった。	3. ２年間、３年間のプログラムを計画し、模擬試験結果と合わせて ICT を活用した学習、成績低迷者の早期の個別指導、既卒者の全面的支援を実施する。
	4. 入学生の確保と就職支援に努める。	4. オープンキャンパスの実施、個別相談、学校訪問、進学相談会への参加、受験科目の選択式導入、インスタグラムの活用と入学生確保の対応を行った。 ２課程は定員数には満たず、特に 1 課程は大幅な定員割れとなった。	4. 第１看護学科はインターネット出願、社会人入試、学校訪問の強化、インスタグラムでの広告、リーフレットの作成は継続する。総合型選抜（AO）入試、給付金制度の導入をし、入学生確保対策を強化する。

	5. 退学者、休学者、留年者を出さない。	5. 准看護科は最終卒業生で１学年であり体調不良者１名であった。専門課程の２科は休学者、退学者は減少しておらず、やや増加傾向にある。休退学の理由は、例年と大きく変わらず成績低迷、経済的理由、目的意識の希薄さ、健康面の課題であった。	5. 今後も指導を要する学生の増加は想定されるため、指導方法の工夫や教員間の連携など個別指導を強化し、保護者とも連携して対応をしていく。
	6. 教職員の資質向上に努める。	6. 科により差はあるがほとんどの教員が研修や学会に参加し、自己研鑽を重ねた。また、全員参加の「ハラスメント研修会」も実施した。	6. 次年度も同様に新たな研修会やセミナーを周知し自己研鑽に努める。
	7. 閉科に向けた準備を円滑に進める。（准看護科）	7. 保管を明確にして、書類や物品の整理をした。	7. 今後は３年後の科の閉科の時に行う。

最終更新日付	令和８年５月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

基準１　教育理念・目的・育成人材像

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念及び目的は、学則等で明確に定めている。便覧、シラバス、実習要項、学校案内等で示し、学生生徒・教職員に周知している。 学外への公表は、ホームページやインスタグラムを活用している。令和 2 年度にホームページをリニューアルして以来、3 科の情報や学校行事等について随時、情報提供している。様々な支援制度をタイムリーにホームページに掲載し支援体制を強化している。募集要項もリニューアルした。 第 1 看護学科及び准看護科は、新カリキュラムを運用し 4 年を経過した。運用に際しては、Ｃラーニングを採用し、学習能力の向上、ペーパーレス化を推進した。第 2 看護学科は令和 5 年度入学生から運用している。新たな教育理念のもと、概ねシラバスに則った教育が実施できた。第 4 回の地域文化祭も多くの地域の方が参加され目的は達成できた。	特色：福岡市で生活するあらゆる年齢や健康段階の人々に積極的に関り地域医療に貢献できる看護師・准看護士を育成している。また、専門職業人として必要な倫理的な態度や責務を自覚し、保健医療福祉チームの中で共同できる能力の育成を目指している。 本校は、「大正」「昭和」「平成」「令和」と幾多の時代を超えた歴史を持つ伝統ある看護師養成校である。 平成 27 年に第 1 看護学科を新設し、第 1 看護学科、第 2 看護学科、准看護科の 2 課程 3 科 440 名の学生・生徒が在籍する「総合的看護専門職養成校」である。 令和 7 年度末における卒業生数は、准看護科 13,998 名、第 2 看護学科 3,534 名、第 1 看護学科 619 名と合計 18,151 名である。 地域医療に貢献すべく卒業生の 7～8 割は地元福岡の医療機関に就職し活躍している。 医師会に関係する方々の協力により実習施設は、全て福岡市内の医療機関であり、非常勤講師も大学病院や医師会会員施設から協力を得ている。 看護師国家試験、准看護師試験の合格率は、例年全国平均を上回り、高い合格実績がある。第 1 看護学科は 94.1%、第 2 看護学科は 88.2%、准看護科は 100%であった。

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

1-1　理念・目的・育成人材像

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
1-1-1　理念・目的・育成人材像は、定められているか	3科で教育目的・教育目標・卒業生像を設定している。	便覧や臨地実習要項に明記している。学生生徒・実習指導者に説明している。	周知徹底を強化する。	便覧 シラバス 臨地実習要項 自己評価冊子
1-1-2　育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	教育目標を到達すべく毎年、年度計画、学年カリキュラムを計画している。	会員施設（実習施設）から講師派遣を依頼し、教育の連携を図っている。また、会員施設、公的施設での実習を実施し、協力を得ている。	各評価から到達度評価までの評価体制づくりに努める。	
1-1-3　理念等の達成に向け特色ある教育活動に取組んでいるか	会員講師や会員施設と連携し教育活動を実施している。	地域住民の生活理解ができるカリキュラムを実施し、医療保健福祉それぞれで学ぶことができる環境を整えている。	新カリキュラムに地域貢献・地域との連携目的に「地域文化祭」を継続実施する。	
1-1-4　社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	管理者会議で将来構想を策定する。	年度初めの教職員会議で周知する。	社会のニーズを把握し将来構想を策定する時期を計画する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念、教育目的、教育目標、卒業時の到達目標を教職員が常に意識しながら教育できる評価体制づくりを目指している。更に評価に関する組織的・継続的な改善を図りたい。	

最終更新日付	令和8年5月23日	記載責任者	稲田 由香里

基準２　学校運営

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
運営方針は文書化、教職員への周知を行っている。また、各課に年間の教育計画を定め、運用している。 各課の教職員や各種委員会、各会議は役割遂行のため機能し、アンケートにより課題を抽出している。 運営組織図を作成し、組織運用し、必要時規程等を整備し運営している。就業規則や規程を整備し、サイトに掲載し周知している。必要時、採用広報を行い、人材を確保している。 おおよそ項目に沿った学校運営ができている。	母体である福岡市医師会事業計画、教育理念に基づき運営方針、組織整備等を行っている。 第１看護学科、第２看護学科、准看護科の２課程３科 440 名の学生・生徒が在籍する「総合的看護専門職養成校」である。

最終更新日付	令和８年５月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

2-2　運営方針

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-2-1　理念に沿った運営方針を定めているか	運営方針の実行は、定期的に開催される運営会議で検討され決定している。入試関係は、入試後に開催される入試委員会で検討され決定している。	決定した内容を教職員で遂行している。必要時、学生・生徒へは、学校長文書を発送している。緊急時は、一斉メールで伝達している。	運営方針は、運営会議で可決後になるため周知までタイムラグがある。	便覧 運営会議議事録 入試委員会議事録 学則 就業規則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育理念のもと運営方針を決め、周知を図り運営されている。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

2-3　事業計画

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-3-1　理念等を達成するための事業計画を定めているか	設立母体の医師会の事業計画を基本に定めている。 看護学校運営規定に則り運営している。	科ごとに年間の教育計画を定め運用している。共通行事に関しては教員会議、課長会議、管理者会議で検討し運営会議に諮り運用している。事業の結果についてはアンケート調査等を行い、次年度の検討課題にしている。 中間計画を定め、事業計画の担当等を明確にしている。	事業計画の事業目標を明示し、事業計画の状況及び見直しの時期・内容を明確にしていく。	学校行事予定 各科学時、年間計画表 運営会議資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校運営の事業計画を策定し、年間計画や教育計画を作成し、運営されている。具体的な事業目標や事業計画の作成と見直し内容を明確にする必要がある。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

2-4　運営組織

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-4-1　設置法人は組織運営を適切に行っているか	行っている。	運営組織図を作成し、組織運用している。 運営会議を実施し、議事録を作成している。	特に問題ない	学校組織図
2-4-2　学校運営のための組織を整備しているか	整備している。	各科の教職員や各種委員会、各会議は役割遂行のため機能している。 実習指導者会議は Web 会議も活用し運用できている。 組織図等を整備し、規程等を整備し運営している。	特に問題ない	業務分掌 運営会議資料 管理者会議資料 課長会議資料 各科教員会議資料 図書委員会資料 教材委員会資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各会議で審議した内容は議事録として保管し教職員に伝達し運用している。 学校の主要な行事等は、全て運営会議で審議し決定し運用している。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田　由香里

2-5　人事・給与制度

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-5-1　人事・給与に関する制度を整備しているか	人事については、所定の手続きを経て庶務会議、理事会議で適正に行われている。 給与に関しては、事務部門で整備している。	就業規則や規規定を整備し、サイトに掲載し、いつでも閲覧できるよう整備している。必要時、採用広報を行い、人材を確保している。	多様な方法で広報活動を行いっているが、人材確保が出来ていない現状もあるため、広報活動強化を図っていく。	給与表 庶務会議資料 理事会議資料 人事考課

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人材の増減や確保に関しては適宜把握し、対応している。 人事考課、昇格、昇給、賞与、有休に関しての制度は完備している。	

最終更新日付	令和８年５月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

2-6　意思決定システム

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-6-1　意思決定システムを整備しているか	整備している。	学校の運営上必要な事項は、運営会議に諮り決定している。 管理者会議、運営会議等で決定した内容は各科会議で周知している。 オンライン会議が増加したが運営に影響はない。	書面会議の場合における質疑応答が難しい。	管理者会議議事録 運営会議議事録 運営会議規定 学則

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
意思決定システムは整備され制度化されている。決定内容は周知し実施している。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

2-7　情報システム

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
2-7-1　情報システム化に取組み、業務の効率化を図っているか	学生情報の共有システムはある。新カリキュラムに向けて C-learning を運用し業務の効率化を図る。	学生・生徒の個人情報に関する情報は一括管理できている。C-learning 導入に伴いペーパーレス化が進むと共に学生・生徒への伝達等の効率化が図れている。保護者機能も活用し、保護者との文書送付や連絡も取りやすくなっている。	ラーニングシステムの効果的運用ができていない点もあるため、周知を図っていく。	学生管理 成績管理 卒業管理 出席管理表 各室使用予約表 C-learning

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生・生徒の情報管理システムは一括管理されている。C-learning を活用して、教員の業務の効率化を更に推進する。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

基準３　教育活動

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念に沿った目標の設定、到達レベルを明確にして対応している。 教育目標に沿った講義、演習、実習等の計画を立て実施した。C-learning によるアンケートにて授業評価を行い、結果を反映させ改善に取り組んでいる。 ICT 活用した C-learning での学習や情報共有は一気に進み、電子教科書を使用した学習やアクティブラーニングも概ね順調に進んでいる。 ポートフォリオやルーブリック評価、共同学習など教育評価方法・教育方法の見直しや学習会を計画している。 授業評価・実習評価を教育評価に繋げ、教育の質の向上を目指す取り組みを推進する。 年度初めには年間計画に沿っての教員の学会・研修の推進を行っている。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

3-8　目標の設定

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-8-1　理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	毎年、教育の到達に向けたカリキュラムを計画している。カリキュラム・学科進度を考慮して時間割を組み立てている。 教科外活動は、毎年見直し検討している。	年度初めに便覧を配布し学習ガイダンスを実施している。学科進度表をシラバスに掲示し学習内容の確認や共通理解を図っている。	教育理念を意識した学習ガイダンスやオリエンテーションになるよう教員間で共通認識を図る。	便覧 実習要項 シラバス 年間計画書
3-8-2　学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	終了試験や実技試験で到達レベルを確認している。	終了試験や実技試験が過密にならないよう配慮した時間割を作成している。学生・生徒が計画的に学習できるように可能な限り早期に時間割を提示している。 ポートフォリオやビジョンゴールシートで各自の目標を設定し目標到達に向けて主体的な活動を支援している。 実習の技術経験や卒業時にアンケート調査を実施している。	各自が主体的にポートフォリオやビジョンゴールシートを活用し学習成果を上げるよう個別的な支援が必要である。	時間割 各種評価表 看護技術経験録 卒業時満足度調査表 ポートフォリオ ビジョンゴールシート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標や卒業時の到達度の評価を意識して各学年、クラス毎の目標を明確にして教育成果に繋げる工夫が必要である。学生・生徒の主体性を引き出すための支援の在り方も組織的な取り組みを更に整備していく。	

最終更新日付	令和８年５月23日	記載責任者	稲田 由香里

3-9　教育方法・評価等

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-9-1　教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	理念に基づき、各科とも指定規則に則り、教育課程を編成している。	毎年、シラバスを見直し教育内容、教育方法を明記している。単位数や時間数、授業内容、授業形態、使用テキスト、評価方法を明記し、学生の予習にも活用できるようにしている。 実習は実習の位置づけ、実習体系図を示し、実習の目的、目標が達成できるように実習指導者会議や学生に説明している。	教育進度通りに時間割を編成しているが、非常勤講師との調整上、進度に変更が生じている。講師との調整を工夫したい。	便覧 シラバス 実習要項
3-9-2　教育課程について、外部の意見を反映しているか	実習施設や他校と連携し、本校の教育課程の取組に活かせるように取り組んでいる。	在校生・卒業生へのアンケートを行い意見聴取し、対応している。就職先へアンケートを実施し、課題抽出を行っている。	外部の意見を反映することを教員が共通認識する。 抽出された課題に対し、対策を講じる。	福岡地区看護学校協議会 日本看護学校協議会
3-9-3　キャリア教育を実施しているか	看護学概論や各専門分野の講義でキャリアデザイン、スキルアップに関して説明している。	専門領域の講師選定の際、専門看護師、認定看護師に依頼している。その際、その旨を説明し学生が将来のキャリアデザインの参考になるように努めている。 卒業生のキャリアアップを紹介し将来像を考える機会にしている。	特に問題ない。	

3-9-4　授業評価を実施しているか	全ての授業科目について学生･生徒から授業アンケートを実施している。	アンケートをラーニングシステムへ変更し集計の迅速化を図った。授業評価結果を考察し科目評価を実施している。次年度の改善に活用している。 ポストテストの結果を講師にタイムリーに連絡している。	学内教員は授業評価を基に結果を活かすよう努めている。	授業アンケート(グーグルフォーム) 各科目授業評価結果

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
C-learning によるアンケート調査の迅速化により教育内容の検討が進んだ。次年度の教育計画に活用し教育内容の充実に繋げていく。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

3-10　成績評価・単位認定等

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-10-1　成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学則・規定に定め、運用している。終了成績は学生・生徒・保護者に提示している。 終了認定は基準に則り、運営会議で決定している。	入学時、便覧やシラバスで説明している。必要時は、随時説明し便覧やシラバスで確認できるようにしている。前期・後期、学期終了時に成績通知している。 進級講師会議、単位認定講師会議、卒業講師会議で個々の成績結果を協議し結果を通達している。 成績不振者には、都度指導し改善を図っているが未修得科目が発生した段階で、教員会議を経て保護者面談等を実施している。	学習習慣に課題を抱えた状態で入学した場合、習得すべき授業科目が多いため学習方法から指導が必要になっている。特性のある学生・生徒の増加により、個別的な対応の必要性から、入学早期からの支援の在り方が課題である。保護者と連携しながら支援を続けている。支援の方法についてはカウンセラーからのアドバイスも参考にしている。	便覧 進級講師会議議事録 単位認定会議議事録 卒業講師会議議事録 運営会議議事録
3-10-2　作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	看護研究の発表会、各臨地実習の発表会で学生・生徒が学習の成果を発表し共有する場を設定している。	各科、教育課程は違うが、基礎看護学実習等、実習終了時に学習発表会を実施している。実習施設の指導者の参加を依頼し指導者の助言を共有している。 看護研究として学会方式での研究発表をしたり、ケーススタディを発表したり、成果を共有しあうことで看護観の構築に繋げている。	科により差はあるが、同学年・異学年の成果の共有はできている。	各発表資料 看護研究資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学則、規定に則り、運用しており問題はない。成績低迷者を個別的に支援し、卒業に繋げていく。	

最終更新日付	令和８年５月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

3-11　資格・免許の取得の指導体制

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-11-1　目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	看護師養成課程であることを学則で明記し位置付けている。	厚生労働省の指定する看護師養成校であり、課程、修業年限、国家試験受験資格、准看護師受験資格等について明確に提示している。		便覧 ホームページ 募集要項
3-11-2　資格・免許取得の指導体制はあるか	年度計画表で指導体制を確認している。	入学時に国家試験、准看護師試験について説明し、3 年間、2 年間の学習の取組みの重要性を免許取得に関連付けて説明している。 定期的な模擬試験、学外講座の紹介、学内講座、教員セミナー、問題集の精選、チューター制、グループ指導、保護者との連携等、指導を強化している。	日々の計画的な学習支援、日々の学習の積み重ねができる環境を整える。	年間教育計画 各学年指導計画 模擬試験成績結果 看護師国家試験出題基準

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
1 年次の基礎専門科目の知識の定着が疾病や看護の理解に繋がることを早期に意識付け、主体的な学習姿勢をクラスで定着させていく。 仲間づくりの段階で学習のサポート体制の仕組み作りを工夫する。臨地実習の学びと関連させながら学習支援を図る。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

3-12　教員・教員組織

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
3-12-1　資格・要件を備えた教員を確保しているか	教員採用時、教員資格、要件を確認している。	看護教員の臨床経験は全員満たしている。 教員資格のある教員を優先して採用計画を立てている。 実習施設が多いため、臨時の実習指導教員を雇用している。		教員履歴書 14 条報告
3-12-2　教員の資質向上への取組みを行っているか	学会、研修会、看護協会研修会の参加は年度計画に組み入れている。	年度初めの教職員合同会議で学会、研修会を提示し教員自身で選択している。		学会・研修会計画表 福岡県看護協会研修計画表
3-12-3　教員の組織体制を整備しているか	組織体制は整備されている。	各科、課長を中心に係長、主任を配置し専任教員の経験年数や力量に応じて役割分担を決定している。	教員の退職に伴い教育力に差が出ないよう協力体制が必要となる。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年、原則として教員養成講習会に教員を出している。左記講習会は 4 月～12 月までの長期間の講習会となり、事実上、欠員での組織運営となり、教員の協力体制が必須となっている。年々、学生・生徒指導に時間を要す状況も増加しており、業務整理や効率化が教員の定着率に直結している。働き方改革が課題である。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

基準４　学修成果

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
就職支援については、専任の職員を看護学校に配属し支援を強化している。近年、准看護科の就職内定が遅い傾向に加え、第 2 看護学科も遅い傾向が出ている。支援対策は、入学時はもとより卒業後も市内の医療機関を紹介し地域の医療機関と連携している。 3 月に学校独自の就職説明会を開催し 3 科の学生・生徒が参加している。准看護科の生徒が卒業後、准看護師として就業できる施設に限りはあるが、1.2 年時の早期から卒業後の就職を検討することは有効である。 第 1 看護学科は 2 年生、3 年生が参加し卒業後の就職を早期から検討できる仕組みを作り支援している。 進学希望者には、進学した卒業生を紹介し進学希望者へ支援している。	学校独自の就職説明会の開催、学習室に随時、求人票を整備・公開し学生が自由に閲覧できるようにしている。 就職支援の専属職員は全科学生・生徒の就職支援に繋げるため、常に市内の医療施設から情報を収集し情報を提供しているが、学生・生徒の就職支援の満足度が引き為、今後は C-learning 上に求人情報を掲載し、タイムリーに情報を発信していく。 可能な限り対面で相談に応じている。 第 1 看護学科は、就職に関する「様式」の提出で課長が就職状況を把握し、個別支援に繋げている。

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

4-13　就職率

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-13-1　就職率の向上が図られているか	各種支援体制を整備し、就職率の向上に努めている。	最終学年の早期から希望の医療施設を把握している。希望の医療施設に就職できなかった場合等、個別相談を受けている。 専属の職員が就職支援を行っている。専属の職員が医療機関から情報を収集し必要な情報を提供することで就職率の向上に繋げている。 ハローワークの職員による就職ガイダンスや就職支援に関する説明会を実施している。	第１看護学科は、希望する就職先の募集が早いため早期からの支援が必要である。 准看護科に加え第 2 看護学科の就職内定が遅延傾向である。就職支援を強化する。	就職一覧表 運営会議 受験報告書（様式 15-1） （様式 15-2） 進路決定報告書（様式 16）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
第１看護学科は就職希望者全員が就職内定している。准看護科・第 2 看護学科の就職活動が遅延している。情報の早期把握と対応が必要である。 学校独自の就職説明会では参加医療機関のアンケートはとっているが、参加学生のアンケートをとることができていないため満足度と課題の把握が課題である。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

4-14　資格・免許の取得率

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-14-1　資格・免許取得率の向上が図られているか	入学時から資格取得について説明し学習を強化している。	問題集を配布し、実習中の学習と国家試験･准看護師試験問題との関連性をオリエンテーションし､主体的な学習を支援した｡定期的に学習内容をチェックし不充分な場合は､個別指導を行った。 各種業者模試を取り入れ、模擬試験の偏りに配慮し、都度、成績評価し個別指導に活かした。	実習中の問題集の取組みが不充分である｡実習の事前学習や実習後の知識確認に問題集を活用する学習方法を示す。	ビジョンゴールシート 学習計画表 業者模擬試験結果 看護師国家試験推移 准看護師資格試験推移

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
看護師国家試験も准看護師試験ともに外部のセミナー、模擬試験等を活用し、また学習環境提供のため学校開放など対応を行った。合格率と指導方法の関連性の分析・対応が必要と考える。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

4-15　卒業生の社会的評価

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
4-15-1　卒業生の社会的評価を把握しているか	就職先へのアンケートを実施する。	学生・生徒の就職先へグーグルフォームでのアンケートを実施した。また、実習での訪問先で卒後の実態を確認した。	グーグルフォームで卒業生のアンケートを継続し、年度の比較・分析を行い、在籍時の指導に反映する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
卒業生の社会的評価把握のため、卒後半年後を目安にグーグルフォームで調査を実施継続する。 回収率が低いため、回収率向上の対策が課題である。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

基準５　学生支援

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
退学、休学、留年への対応は、初期対応が重要となる。成績の低迷や学校生活上の変化に早期に気づくことが大事である。担任や担当者が個別に対応している。必要時、早期に保護者と連携し学習の継続を支援している。 3 科とも担当制とし複数の教員が関わる体制から学生支援に努めている。実習時期になると心理的に不安定になる学生・生徒がいるため、スクールカウンセリングを紹介し学習が継続できるよう支援している。スクールカウンセリング利用に際しては、守秘義務を徹底し安心して相談できる環境を提供している。 経済的な支援は、各種奨学金制度を紹介している。追加で紹介される奨学金制度はホームページで適時紹介している。 校納金の管理は、事務課が対応している。減免等は行っていないが、事情が発生した場合は、個別に対応し学習が継続できるよう支援している。 准看護科や第 2 看護学科の学生・生徒が勤務施設を退職した場合は、学校専属の就職支援の職員が勤務施設を紹介している。 意見箱「みんなの声」を設置し、学生・生徒が気軽に意見できる機会を作って対応している。	終了試験の成績結果や技術試験の結果をもとに担任を中心に個別支援している。必要時は、三者面談を行っている。 第１看護学科では、オンラインで保護者会を実施し学生支援に協力をお願いした。 チューター制、ピアサポート制を導入し学生支援を強化する。

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

5-16　就職等進路

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-16-1　就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学校専属の就職支援の職員と課長及び 3 年生担任が計画的に支援している。	専属の就職支援職員が市内の求人を適時把握し学生・生徒の相談に対応している。又、市内の医療施設と密に連携し情報提供している。 年に１回、勤務施設長会議を開催し、勤務する学生･生徒の支援と連携協力を依頼し支援体制の強化を図っている。 求人情報や募集要項を整理し、いつでも閲覧できる環境を整備している。ラウンジや掲示板へも適時求人情報を提示している。最新求人は C-learning でタイムリーに情報提供している。 就職説明会を開催し、直接病院と関わることができる機会となり、同時に個別相談に応じている。 就職活動の支援として、担任やマナー講師、事務課職員で就職活動の方法、ルール、履歴書の記載及び面接の受け方を説明し随時、個別対応をしている。	求人情報を C-learning 上で提示する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
勤務施設に所属する学生・生徒の就職支援は、勤務施設と連携し確認しながら進めている。入学時から卒業後の就職を視野に入れ主体的に取り組めるような体制作りを進めている。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

5-17　中途退学への対応

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-17-1　退学率の低減が図られているか	年度目標で 5%以内を目指している。	退学者を出さない事を目標に各科課長、係長、主任と担任や担当者が常に連携し対応している。 保護者や勤務施設とも連携し学習の継続を支援している。 必要時はスクールカウンセリングを勧め、専門家の支援を受けている。 進路変更の場合は、必ず保護者と連携し、本人や保護者の意向を確認しながら時間をかけて対応するよう心がけている。 看護職を目指す意思が不明瞭な状況で入学し、進路途中で迷いが生じる学生・生徒に対しては十分な対話を心がけている。	経済的、精神的、人間関係、成績低迷など理由は様々であり休学、退学者が発生している。できる限り早期に個別的に対策を図っているが 5%以内の目標は達成できていない。 心療内科の予約に数週間要する状況もあり早期受診が課題となっている。 チューター制やピアサポート制の充実を図る。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員のきめ細やかな対応が学生・生徒一人ひとりの気持ちの把握に繋がっている。様々な事情から進路変更する場合も後悔しないよう本人の気持ちを第一に考えた対応を心がけている。退学率の上昇がみられるので、退学率の低減は課題である。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

5-18　学生相談

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-18-1　学生相談に関する体制を整備しているか	担任や担当制をとり、相談しやすい体制を整えている。 スクールカウンセラーを置いている。 学校専属の就職支援職員を配置している。	週１回、スクールカウンセリングを設定し予約制としている。カウンセリング室は、入退室が他の学生･生徒から見えにくい部屋を選択し運用している。 学生・生徒の相談内容は守秘義務を遵守している。 休学した場合もカウンセリングの継続を希望した場合はカウンセリングを計画している。 家族でカウンセリングを希望される場合も対応している。	担任等が個別対応する際の部屋が少ない。特に個人的な内容の場合､在校生の目に入らない部屋が望ましいので､保健室を使用している｡建物の環境も大事な要素であるが構造上、やむを得ないと考える。 チューター制やピアサポート制の充実を図る。	カウンセリング予約表 カウンセリング予約ノート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
3 科共、学年及び実習担当制をとっているがいつでも相談できる体制になっている。教員やカウンセラーは個人情報の保護を遵守し、状況によって共有する場合は、原則、本人の同意を得たうえ、同意のあった学生について教員間で共有している。カウンセリングは、本人の希望及び教員の勧めで本人が同意して受けているが、本人の意思を最優先して対応している。	

最終更新日付	令和８年５月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

5-19　学生生活

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-19-1　学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	各科により該当する制度は異なるが、福岡市医師会看護師等修学資金、福岡県看護師等修学資金、日本学生支援機構奨学金、福岡県教育文化奨学財団、江口姉妹基金など、希望者に経済的な支援体制を整備している。 専門実践教育訓練講座の指定を受け、教育訓練給付金制度を受け付けている。	各種修学資金制度についてオープンキャンパスや入学時に説明会を開催している。希望者を募り支援しているが人数枠がある。	在学中に経済的問題が発生した場合の支援が難しい。	福岡市医師会看護師等修学資金資料 福岡県看護師等修学資金資料 日本学生支援機構奨学金資料 福岡県教育文化奨学財団資料 江口姉妹基金資料
5-19-2　学生の健康管理を行う体制を整備しているか	学則、健康管理規定で整備している。	規定に基づき、毎年４月に健康診断を実施している。検査結果がわかり次第、校医が結果確認をしている。 異常を指摘された場合は、再検査、精査を指示し健康状態を把握している。 実習施設からワクチン接種の要望もあり計画的なワクチン接種を指導し抗体価を確認している。		便覧 健康診断に関する表簿

5-19-3　学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	業者が運営する学生寮を紹介している。	オープンキャンパスに学生寮の業者のコーナーを設けて紹介している。 校内に学生寮のパンフレットを設置している。		学生寮のパンフレット
5-19-4　課外活動に対する支援体制を整備しているか	教科外活動については、時間割等で計画的な支援体制を整えている。	2022 年度から地域文化祭を実施した。 また、例年ボランティア活動を実施している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
修学資金制度や健康管理に関して特に問題となることはなかった。医療機関での実習があるため学校独自の体調管理表を作成し、毎日、学生生徒の健康状態の把握に努め、感染対策は継続実施できた。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

5-20　保護者との連携

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-20-14　保護者との連携体制を構築しているか	Webでの保護者会を開催し連携体制を整えている。 定期的に保護者宛文書をC-learning にて送信し、協力を依頼している。	入学式、戴帽式、卒業式は通常通りの開催とした。 保護者宛文書は、季節休暇、終業等にC-learningを活用し送信し、学習支援の協力を得ている。 保護者会に出席できなかった保護者には保護者会資料を送付している。 学業不振、学校生活に問題を持つ学生・生徒については保護者と密に連携し、必要時は三者面談を行い家族も含めて支援している。		保護者会資料 各保護者宛文書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
保護者とは電話、ラーニングシステム等で連携を図っている。学校から文書や資料を送信し連携を心がけた。また、C-learningの保護者機能の活用にて密に連絡をとっている。必要時は保護者との面談を実施し学業継続等を支援した。	

最終更新日付	令和8年5月23日	記載責任者	稲田 由香里

5-21　卒業生・社会人

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
5-21-1　卒業生への支援体制を整備しているか	2024 年、全科共通の同窓会を発足した。	同窓会に向けて卒業時にクラスの代表者を選定している。 同窓会の支援を行っている。	同窓会を実施する。	
5-21-3　社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	学則に既修得科目の認定を明記している。	入学時に既修得科目の認定の説明を行い、申請者の履修認定を支援している。 専門実践教育訓練講座の教育訓練給付金制度を運用している。		便覧 様式（既修得単位の認定申請書）

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
専門実践教育訓練講座としての認定を受け、社会人入学者の経済面を支援している。社会人の志願者が増加しているため、社会人入学者の支援に向けた学習支援に繋げていく。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

基準６　教育環境

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
平成 4 年早良区百道浜に新築移転後 30 年以上が経過した。平成 27 年、第 1 看護学科を開設するにあたり、全面改修し学習環境を一新した。図書室に専用の司書を採用し学生の学習を支援した。 2022 年度より、第 1 看護学科、准看護科共に新カリキュラムとなった。新カリキュラムに関連した技術演習の強化に伴い、各種モデル人形等、教材教具を整備した。 新カリキュラムによる ICT 活用、i-pad 使用により Wi-Fi 環境を整備した。 防災体制は概ね整備しており、早良消防署の指導の下、年 1 回防災訓練を実施している。第 2 看護学科は夜間登校のため、早良消防署には防災訓練実施を報告している。 医師会館の 2 階から 5 階が看護学校である。医師会館や学校に防犯カメラを設置し、会館入り口にガードマンを配し防犯体制を整備している。令和 3 年度防犯カメラを増設した。 本校は、地下鉄西新駅から徒歩圏内、西鉄バスのバス停すぐの立地条件で天神や博多からのアクセスは良好で通学しやすい環境である。 3 科とも実習施設は、福岡市内の医療施設において実習できる環境で恵まれている。今後も実習施設の協力を維持し実習を支援していく。 令和 4 年度の新カリキュラム運用から 2 クラス合同授業用として 3 階、5 階に大教室を設けている。	医療施設との連携は 3 科とも確立している。実習における学習成果は図りしれず、学生・生徒一人ひとりの看護観の確立に果たす役割は大きい。今後も実習施設と密に連携していく。 防災については、地震、津波等の防災全般における組織体制を定期的に確認し運用していく。

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

6-22　施設・設備等

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-22-1　教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	3 科のカリキュラムに対応した整備に努めている。	3 科教員が教材委員及び図書委員を担当し、定期的に委員会を開催し運用している。 夏季休暇に校内の教材を点検整備している。モデル人形も購入業者から毎年定期的な点検を依頼し整備している。 図書は司書が毎日整備点検することで活用度が増加している。 高額な教材や備品は購入計画を立てて計画的に購入できている。 実習室使用予定表をデジタル化したため、共有確認が容易になった。 卒業生へも図書室の提供をしている。	新カリキュラムから学内演習や学生・生徒の練習頻度が増加している。そのため、シミュレーターや教材を共有することが多いため、点検確認や計画的な購入が必要である。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
モデル人形や教材教具の使用頻度が増えたため、定期点検等を含め、教育環境の整備に努めている。教材室・実習準備室の整理整頓、教材の定期点検は年度計画に組み込み実施した。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

6-23　学外実習、インターンシップ等

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-23-1　学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習の教育体制は確立している。海外研修の実施体制を整備している。	臨地実習は、実習施設と事前の指導者会議を実施し連携を図っている。実習施設から講師派遣を依頼し教育の連携もできている。 解剖見学、脊損センター見学等の施設見学を実施した。 第１看護学科のみ海外研修を実施している。		臨地実習要項 施設見学資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
解剖見学や脊損センター見学後、理解が深まり疾患や看護に活かせているため、今後も継続する。 臨地実習について、評価基準の明確化、教育効果の確認も実施しているため、結果を次年度の参考としていく。海外研修にて学びも大きいため継続していく。	

最終更新日付	令和８年５月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

6-24　防災・安全管理

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
6-24-1　防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	職員の防災体制は整備されている。 防災規定に規定している。	防災規定に学校防災マニュアルを示し、学内や実習場で災害が発生した場合を具体的に示している。 学校安全計画、危機管理マニュアルを作成、運用した。		
6-24-2　学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	防災規定に規定し、説明している。 AED を 2 台設置している。	年に 1 回、防災訓練を実施し防災器具の取り扱いを説明している。 防災訓練には早良消防署に立ち合いを依頼し安全な避難事故防止の観点で指導を依頼している。 外部講師を招き、救命救急講習を受講している。 学生・生徒、教員は、損害保険に加入し対応している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
防災は、防災規定を定め、学校防災マニュアルに示し説明している。 毎年、損害保険に加入し適時対応できる体制を整備している。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

基準７　学生の募集と受入れ

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生募集は、ホームページや業者による広報、オープンキャンパス、学校訪問、進学ガイダンスなど学生募集活動を実施している。オンラインによるオープンキャンパスと来校型のオープンキャンパスを併用している。個別対応の希望者へも対応した。 福岡市内・県内の看護大学の急増、高学歴化、少子化により 3 科共定員数の確保は厳しい状況である。 入試試験は、複数回実施し、入学者を確保しているが看護大学増加の影響が大きい。 入学試験は、試験問題、グループディスカッション、個別面接を実施し、適正かつ公平な方法で選考している。 校納金は、教育内容を勘案し、各科で適正な学費設定を行い運用している。	ホームページをリニューアルし、情報発信の在り方を工夫している。 ＳＮＳを活用した広報も実施している。 学生確保対策として、推薦やインターネット出願に加え、新たに AO（総合型選抜）入試、成績優秀者修学奨励金などを取り入れている。

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

7-25　学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
7-25-1　高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取組んでいるか	学校訪問、進学ガイダンスを行い、学校案内、ポスターを県内、近隣県に発送している。	入学実績のある高校の進路指導部に訪問の連絡を入れて計画的に実施している。その際、入学者の情報を提供し連携化を図っている。	本校入学実績のある高校との連携構築。	募集要項、ポスター 学校訪問資料 入試委員会資料 運営会議資料
7-25-2　学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	ホームページ、学校訪問、進学ガイダンス、学校案内、ポスター等で募集活動を実施している。	募集活動の時期や方法は入試会議、運営会議で検討後、計画的に実施できている。	試験内容変更(学科目の試験廃止)、AO（総合型選抜）入試の導入を行う。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
高校生や社会人に広く認知され、志願者を増やす方法を更に工夫したい。募集活動は最重要項目である。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

7-26　入学選考

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
7-26-1　入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	本校独自の入学試験規定に選考基準を明記し運用している。 入試委員会によって公正に審議し入学選考を実施している。	社会情勢、入学生の動向や近隣校の試験科目等を参照し入試科目等を検討している。 入学試験に関しては、入試委員会、運営会議で決定している。	入学選考基準に則り、選考しているが、受験生の動向が毎年安定していない。	福岡市医師会看護専門学校入学試験規定 入試委員会資料 運営会議資料
7-26-2　入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考結果を授業改善に活用していない。	入学選考結果から学生生徒の成績等の分析を実施していない。	入学選考結果と入学後の成績等の傾向を分析し授業方法や授業形態を工夫する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
志願者の確保に関しては、入試科目や入試科目数が影響するため、志願者の動向や採点結果を検討している。入学選考に関しては、全ての試験において面接試験を実施し適正等を判断している。第１看護学科においてはグループディスカッションと面接を実施し多角的に適性等を判断し、入試委員会、運営会議で最終審議している。	

最終更新日付	令和８年５月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

7-27　学納金

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
7-27-1　経費内容に対応し、学納金を算定しているか	算定している。	教育内容、必要経費から概ね妥当な金額を算定している。 徴収金額は学校案内に明示している。	消費税や社会情勢の変化から常に学納金を査定する必要性がある。	募集要項
7-27-2　入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	適正な取り扱いを実施している。	入学辞退者には書面で辞退の届け出の提出を依頼している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
校納金は近隣校と比較しても問題はなく標準的な金額である。今後も社会情勢や教育内容から経費を算定し適切な水準を保持する。	

最終更新日付	令和８年５月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

基準８　財務

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
准看護科の令和７年度末閉科、第２看護学科の令和１０年度末閉科を控え、今後数年は財政悪化が見込まれるが、その後の中長期的な財政基盤を安定させるために、第１看護学科の定員数確保は必要不可欠である。 オープンキャンパスの早期開催や学校見学会の随時開催、高校への頻回な訪問、進学相談会への積極的な参加の他、積極的な広報活動等に努め、入学定員の充足を図る。また、退学・休学者を出さない体制づくりにも取り組んでいる。 なお、入学者数の減少が続いていることから、今後は定員数の削減も視野に入れた慎重な検討が必要となる。	少子化・高学歴化等の状況下であっても、第１看護学科入学者の確保は重要な課題である。従来から取り組んでいるＷｅｂ出願システムや社会人入試実施に加え、令和７年度より新たに一般入試におけるマークシート方式の導入や指定校の大幅追加、ＳＮＳを活用した積極的な広報活動等を実施している。 また、今後は一般入試の筆記試験内容変更（国語・数学・英語から一般常識問題へ変更）やＡＯ入試の導入、奨励金制度（特待生制度）の創設等も予定している。

最終更新日付	令和８年５月31日	記載責任者	宮本　謙一

8-28　財務基盤

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
8-28-1　学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	中長期的な財政基盤を安定させるために、定員数の確保は必要不可欠である。積極的な広報活動等に努め、入学定員の充足を図る。また、退学・休学者を出さない体制づくりにも取り組む。	従来からのＷｅｂ出願システムや社会人入試実施に加え、令和７年度より新たに一般入試におけるマークシート方式の導入や指定校の大幅追加、ＳＮＳを活用した積極的な広報活動等を実施している。	入学者数が激減した場合の収支状況および対応については、入学者数毎の収支シミュレーション等を行い、最善な対応について準備をしておく。	
8-28-2　学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	財務検討会の実施。	四半期ごとに財務検討会を行っている。	准看護科閉科に伴う在席生徒数減により、本年度ははじめて法人会計より資金の繰入を行った。今後、入学者等が激減した場合には経営状況が一気に悪化する可能性がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の確保が難しい状況下であっても、安定した収入の確保は重要である。事業活動支出の削減にも努める必要がある他、今後の収支によっては、定員数を変更することも検討が必要である。	

最終更新日付	令和８年５月 31 日	記載責任者	宮本　謙一

8-29　予算・収支計画

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
8-29-1　教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	中長期的な事業計画を策定し、優先度・重要度を考慮しながら単年度の予算計画の策定。	新カリキュラム移行に伴う教育時間数の増加に対応するための設備投資について、収支状況を見ながら計画的に行っている。	感染症の流行や、災害発生等の緊急事態に伴う柔軟な対応。	年度予算書
8-29-2　予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算及び計画に基づき、適正な執行管理に努める。	学科毎に予算管理を行っている。	年度当初の予算から大きく乖離しないよう、導入している会計システムにおいて、随時予算と実績を比較することで適正な管理を行っている。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
経費内容を常に見直しつつ効率化を図ることが必要となる。削除すべき支出は適宜抑えることで、安定した学校運営を行っていく。	

最終更新日付	令和８年５月31日	記載責任者	宮本　謙一

8-30　監査

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
8-30-1　私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	監査については、外部・内部監査を受けており、適正かつ計画通りの実施。	会計監査については、四半期毎に公認会計士による外部監査、監事による内部監査を実施している。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監査については、外部・内部監査を受けており、適正かつ計画通り実施されている。指摘された内容についても、適切に対応している。	

最終更新日付	令和８年５月 31 日	記載責任者	宮本　謙一

8-31　財務情報の公開

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
8-31-1　私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務に関し書類整備し、看護学校事務室および､福岡市医師会の受付にて閲覧に供する。	一定の範囲の情報について、本校ホームページに掲載し､看護学校事務室および､福岡市医師会の受付にて閲覧可能となっている。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
財務に関し書類整備ができており、看護学校事務室および、福岡市医師会の受付にて閲覧可能となっている。 常にコンプライアンスに基づいた対応を行う。	

最終更新日付	令和８年５月 31 日	記載責任者	宮本　謙一

基準９　法令等の遵守

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令に関しては、医療専門課程の専修学校として遵守している。保健師助産師看護師学校養成指定規則に則り、教育課程を編成し運用している。 個人情報保護については、個人情報保護に関する規定を策定し周知徹底を図っている。 特に実習施設の患者情報等の取り扱いは、実習要項に示し実習施設と共有し学校の管理方法を厳守している。学生・生徒は誓約書に記載し書面で誓約している。 自己点検・自己評価は、令和元年度から学校関係者評価を設置し運営している。	学校教育法、学校教育法施行令、学校教育法施行規則 保健師助産師看護師法、保健師助産師看護師法施行令 保健師助産師看護師施行規則 保健師助産師看護師学校養成所指定規則 14 条報告 看護師等養成所の運営に関する指導ガイドライン

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

9-32　関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
9-32-1　法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	規程に則り運営している。 ガイダンス､オリエンテーションで周知を図っている。 誓約書で確認している。	指定規則、指導要領、ガイドラインを確認しながら教育活動を実施している。 各種規定を策定し、便覧で運用している。 個人情報保護、SNS、ハラスメント防止を規定し防止に向けて周知している。 特に SNS に関しては、都度注意喚起している。		14 条報告 便覧 誓約書

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
関係法令、設置基準を遵守し適切に運営されている。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

9-33　個人情報保護

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
9-33-1　学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	3 科共通で対策を実施している。	学生・生徒の個人情報、成績管理はファイネスで管理し教職員独自の番号で取り扱い、漏洩予防している。 個人情報保護に関する誓約書を学校長宛提出している。 実習においては、実習記録や情報管理について病院に誓約書を提出している。実習記録は可能な限り情報を暗号化し、個人が特定できない方法を工夫している。実習記録類は確実に管理し、情報は都度、細断処理している。 看護研究においても病院情報、個人情報が特定できない表現として学習を深めている。 実習記録等は卒業後、適切に処理している。		誓約書（実習施設提出用） 個人情報保護に関する誓約書便覧 実習要項 実習記録 情報ノート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報保護に関する対策は、3 科共通で便覧や実習要項に示し厳重に管理している。実習施設との指導者会議において個人情報の取り扱いは共通認識し電子カルテの取り扱いから病院情報に至る一切の情報の守秘を学生・生徒に周知徹底している。記録物等の確認方法もルール化し全員が意識的に実施できるよう指導を徹底している。対策強化の効果から、紛失や漏洩はない。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

9-34　学校評価

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
9-34-1　自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	自己点検・自己評価に関する規定に基づき実施している。	教員全員が自己評価を実施している。評価結果を踏まえ、自己点検自己評価委員会を設置し、改善に取り組んでいる。	教員の自己評価の認識が低い傾向がある。評価の視点の改善を図る。	自己点検自己評価規定 令和 2 年度から私立専門学校等評価研究規定、専門学校評価基準 Ver.4.0 を採用
9-34-2　自己評価結果を公表しているか	実施している。	教員評価、学生評価結果を公表している。		
9-34-3　学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	実施している。	学校評価規定に則り評価を依頼している。		
9-34-4　学校関係者評価結果を公表しているか	ホームページで公表している。	ホームページで公表している		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
令和 2 年度から私立専門学校等評価研究機構、専門学校評価基準 Ver.4.0 を採用している。専門学校評価基準の内容について表現を工夫したが今年度も教員の評価が低い傾向があり次年度への課題として改善が必要である。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

9-35　教育情報の公開

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
9-35-1　教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	ホームページで入試状況、カリキュラム、学校生活、就職状況など学生･生徒の個人情報に十分配慮した上で情報を公開している。	ホームページ、パンフレット等の写真のモデルの学生･生徒に説明し、承諾を得た上で教育情報を公開している。必要時、保護者の同意を得ている。		自己評価・自己点検の資料

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
沿革、学校の特色、教育内容、資格取得、入試情報等についてホームページや学校案内、募集要項で公開している。 看護師国家試験、准看護師試験結果や卒業後の就職先等も情報公開している。今後も個人情報を遵守しながら、わかりやすい情報を公開していく。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

基準１０　社会貢献・地域貢献

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本校は、医師会立の看護師養成所として大正 5 年に開校以来、令和 5 年 3 月まで多くの看護職を輩出し、大正から令和の時代まで地域医療に貢献してきた。 校内で地域の障がい者施設の製品の販売を行い、障がい者と学生・生徒の交流になっている。地域のボランティア活動や実習施設の行事にも参加し地域と交流を図っているが十分とは言えない。養成所が設置されている地域は学生・生徒にとっては、重要な学習環境あるため、地域社会のニーズを把握し人的・物的資源を活用しながら積極的に交流を図りたい。令和 4 年度から運用している新カリキュラムにおいて、地域・在宅看護論が改正の柱になっている。学校行事として地域文化祭を開催し地域貢献など地域との交流や連携の仕組みづくりとしている。 授業や教科外活動においても地域交流、社会貢献活動を組み入れている。	

最終更新日付	令和 8 年 5 月 23 日	記載責任者	稲田 由香里

10-36　社会貢献・地域貢献

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
10-36-1　学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	地域文化祭を開催する。	地域文化祭を2日間開催し、地域の方の健康増進や学生との交流の場としている。		地域文化祭

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
地域文化祭においては、地域の幼児、学童から高齢者の方が来校し、健康に関するイベントに参加したり、出し物に参加したり地域交流が図れた。	

最終更新日付	令和8年5月23日	記載責任者	稲田 由香里

10-37　ボランティア活動

小項目	ア　考え方・方針・目標	イ　現状・具体的な取組等	ウ　課題と解決方向	エ　イの参照資料等
10-37-1　学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	第１看護学科は教科外活動に設定している。 准看護科は授業においてボランティア活動を導入ている。	ボランティア活動を実施し報告会を行い共有し終了している。 授業として地域で行われているボランティア活動に参加している。		

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
第２看護学科は、勤労学生のためボランティア活動を教科外活動に取り入れていない。第１看護学科は教科外活動としてボランティア団体と提携し全員が活動を実践している。准看護科は授業の中でボランティア活動を実践し地域を知ることや地域の生活者としての認識が深まり、活動の重要性が理解できている。	

最終更新日付	令和８年５月23日	記載責任者	稲田 由香里